



牛潰瘍性乳頭炎

原因

乳頭にできた小さな傷に牛ヘルペスウイルス2型が感染して起こるといわれています。

ミルカーや搾乳者を介しての伝播、吸血昆虫による媒介によって感染すると考えられています。また、分娩によるホルモンや免疫機能の変化、乳房浮腫による血行障害などが発症の誘因になっているとされています。



水泡破裂後、乳頭全体に炎症波及

症状・特徴

初産牛に多くみられる、乳頭の皮膚に水泡を形成する病気です。水泡ができてから1日程で水泡が破裂し、乳頭全体に炎症が広がります。多くの牛では、乳頭皮膚の薄皮が脱落し、その脱落部分が乾燥していくと治ります。しかし、炎症部分に細菌の二次感染が起きた場合、治癒が遅れたり乳房炎を併発したりします。中には、乳頭皮膚が黒変した後に壊死して、乳頭の付け根から脱落する例もあります。



乳頭壊死

予防

特に初産牛に発生するので、未経産牛をストレスがなく衛生的な環境で飼養することが重要です。また、乳房浮腫との関係が認められていることから、分娩前の過剰な塩分とタンパク質を減らし良質な粗飼料を給与することが必要です。また、感染牛はミルカーや搾乳者からの伝播を防ぐために最後に搾乳することが望まれます。

治療

効果的な治療はないので、患部の二次感染を予防します。

ミルカーの装着により傷の治癒が遅れるので、A チューブなどを使って排乳します。また、傷にイソジンゲルや消炎剤と抗菌剤を含む軟膏を塗布し、テープを巻いて保護します。

参考文献 テレビドクター3